



キク編

病害虫注意報 2024年11月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病に注意しましょう！

閉めきったハウス内は湿度が高くなり、白さび病発生の原因となります。
環境制御に加えて、定期的な薬剤での防除も実施してください。



症状

多発条件

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）
- ▶ 梅雨時期と秋頃の冷涼な気候（15～20℃）

対策

- ▶ ハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 排水性を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却する。または、土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています（輪菊栽培）。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	23	アザミワ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病	予・治 アミスター20フロアブル	2,000倍	発病初期	5回
	2A	ハダニ類	ペンタック水和剤※	1,000倍	—	—
発蕾時	19	白さび病	予 ポリオキシシAL水溶剤	2,500倍	発生初期	8回
	6	アザミワ類・ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回
破蕾時	3	白さび病・うどんこ病	予・治 アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
	25A	ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000倍	発生初期	1回

※花き類・観葉植物登録

対象病害虫によって使用の希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

海藻サンバ

育苗期・生育期:1,000倍

イノチオのバイオスティミュラント！
光合成・発根の促進におすすめ

- ▶ コリンによる光合成促進と発根促進
- ▶ 海藻エキスによる発根促進
- ▶ 転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

葉焼け軽減に！

プロテックa

500～1,000倍 葉面散布

～特徴～

- ・散布にてカルシウムを内側から供給！
- ・天然ワックスで表皮を保護強化し
植物体内の水分の過剰蒸散を防ぐ！

カルシウム、パラフィン配合
植物表皮を保護強化

